

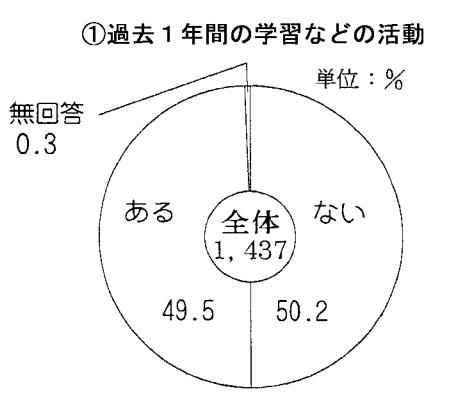
生涯学習通信

「生涯学習に関する市民意識調査報告書」より

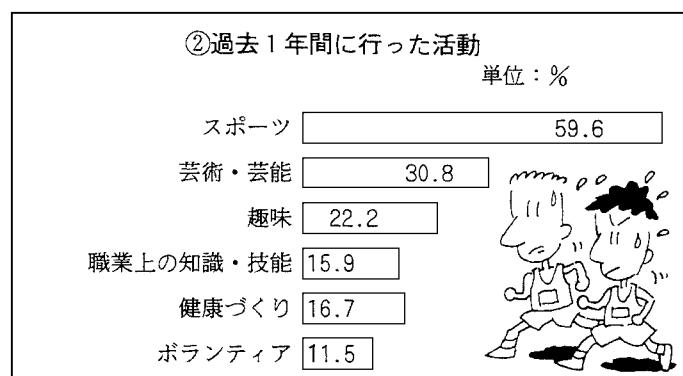
生涯学習振興のため、男女二十歳以上の市民の方(一四三七名)を対象に調査を実施しました。調査報告書が作成されましたので、その一部をご紹介します。

また、調査報告書は居住地区、男女、年代、職業、居住歴の区分別集計や考察、意見・希望など詳細にわたる内容です。市立図書館、各地域コミュニティセンターなどに置いてありますので、どうぞご自由にご覧ください。

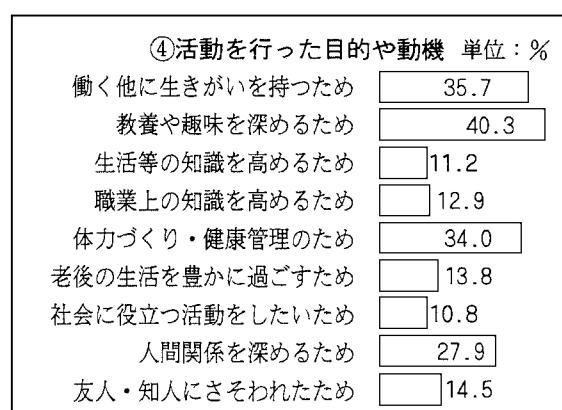
「生涯学習推進会議普及・啓発部会」



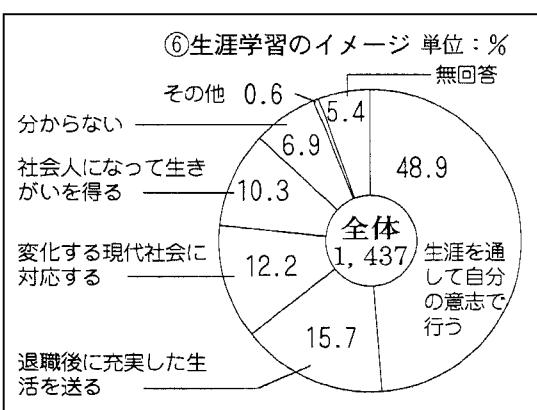
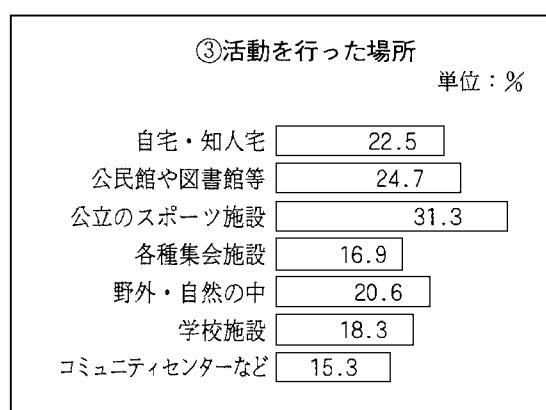
①過去一年間の学習などの活動の有無
市民の約半数(四九・五%)が、過去一年間に何らかの活動を行っています。しかし、対象区別にみると相違があり、学習機会の工夫が必要と思われます。



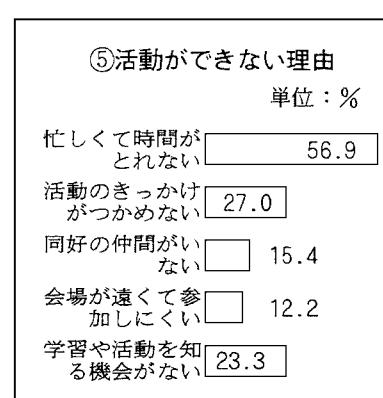
③活動を行った場所
それぞれの特徴があらわされています。
各種スポーツ施設が多くなっています。スポーツ施設の充実と共に、各種学習施設、集会施設の充実も望されます。



④活動を行った目的や動機
反面、生活や職業、老後の生活、社会生活などが少ない点を考えている傾向があらわれています。体力づくり、人間関係などを求め必要があると思われます。

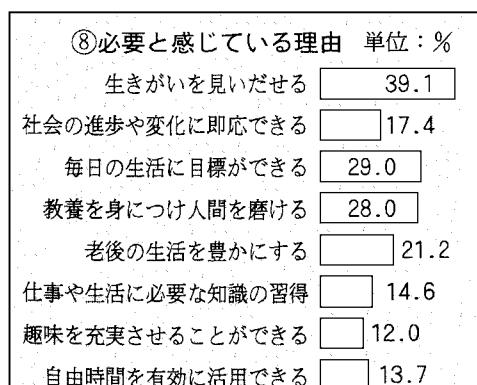


⑥生涯学習のイメージ
「生涯を通して自分の意志で行う」(四八・九%)という意識が高く、社会生活にかかる意の意識は比較的少ないようです。

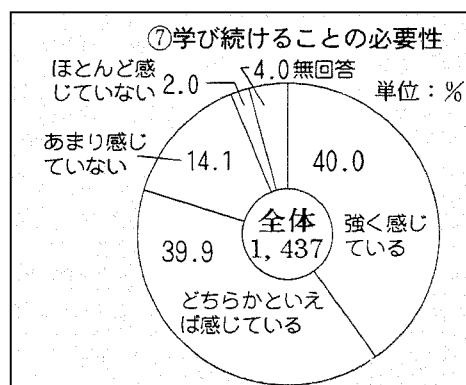


⑤活動ができない理由
「忙しい」(五六・九%)が多く、

「忙しくて時間がない」(二一七・〇%)、「知らない」(二三三・三%)が多く、機会がない」(二三三・三%)が多く、情報の提供が重要視されます。



⑧必要と感じている理由
生きがい、生活の目標、教養、老後の生活、社会に即応、仕事や生活のため、自由時間の活用、趣味の充実の順で続きます。



⑦「学び続けること」の必要性
「強く感じている」(四〇・〇%)、「どちらかといえば感じている」(三九・九%)が多く、その他の二〇・一%の数値について考える必要があると思われます。